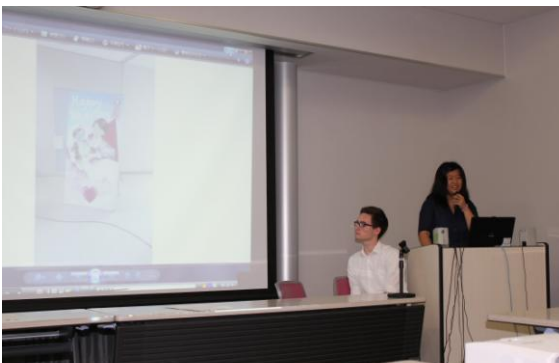


6月25日（水）の放課後、帰国を控えている留学生4名が、約10ヶ月に渡る留學生活の学習の成果を発表しました。



まず、中国からの留学生が写真を見せながら、夕陽丘高校で過ごした日々を振り返りました。写真の中の彼女の表情が、夕陽での有意義な生活を物語っていました。流暢な日本語での見事なスピーチで、日本語の上達ぶりに驚かされました。

2番目はカナダからの留学生の発表でした。自分の言葉で日本の良さを語ってくれました。彼のスピーチを通して、私たちが普段見過ごしている「日本らしさ」に改めて気づくことができました。



3番目はベルギーからの留学生でした。昨年行ったグアムへの修学旅行や、今年の5月に行われた体育祭を通して、多くのクラスメートと仲良くなったことなどを話してくれました。「書道の時間の静寂が大好き」という言葉がとても印象的でした。

最後はドイツからの留学生がスピーチをしました。ほぼ即興でのスピーチで、彼の日本語の能力の高さがうかがえました。人懐こい笑顔で、多くの友人たちと過ごした夕陽での日々を話してくれました。



国際交流委員や担任の先生方からもお別れのあいさつをしてもらいました。



たくさんの友だちに囲まれて、みんな良い笑顔です。

それぞれの国に帰っても、日本で学んだこと、経験したことを生かして大きく成長してください。